

# 2016年度 京都大学 前期 地理

## I カルスト地形と北ヨーロッパの地形・気候

出題範囲	小地形, 大地形, 気候, 工業概論
難易度	★★☆☆☆
所要時間	17分
傾向と対策	(4)が突出して難しい。一方で他の問題は, (2)以外は非常に簡単な問題ばかりで小問間でのレベルの差が大きくなっている。そのため, (2), (4)以外の問題を完答するのは前提で, (2)の出来が合否の鍵を握るであろう。単答問題と(7)の記述は全てセンター試験レベルの知識で対応できるので, センター試験対策をおろそかにしないことが大切である。また, (2)は地図を丁寧に読み取っていけばカルスト地形の地図だとわかり, そこからヒントを得られる。(4)を完答するのは至難の業なので, 何とか1点でも部分点を取りにいきたいところである。

### 《この解説の使い方》

**黒太字** …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

**赤字** …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

**青字** …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

### 《字数について》

マス目付き解答欄について, 英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

### 解答例

- (1) 凹地
- (2) セメントの原料となる石灰石の露天掘りをしているため, 階段状の平坦な荒地となっている。(42字)
- (3) セメント
- (4) ドリーネの底などから流れ込んだ雨水が地下水となり, 地中の石灰岩を溶食しながら移動することで空洞が形成された。(54字)
- (5) U字谷
- (6) フィヨルド
- (7) 沖合を流れる暖流である北大西洋海流上の暖かく湿った空気が偏西風によって東へ運ばれ, スカンディナヴィア山脈に当たって上昇し, 冷却されて大量の雲が発生し, 高緯度で低温のため降雪となる。(89字)

## (1) 難易度：★★★★☆

解答

## 凹地

解説

図中の地図記号が表すものを答える問題。地図記号はセンター試験の地形図の読み取り問題でもよく問われるので、しっかりとおさえておかなければならない。教科書や資料集でカルスト地形を勉強する際に、<sup>おうち</sup>凹地の地図記号は取り扱っているはずなので落としたい問題である。しかし、中には地図記号が表す地形の形状はわかって「凹地」という言葉が出てこなかった人もいるのではないかと思う。そのような人は、もう一度教科書や資料集などで地図記号を見直してほしい。他にセンター試験や2次試験で問われやすい地図記号としては、城跡、荒地、採石地、砂礫地、干潟、<sup>いんげんがん</sup>隠顕岩、防波堤、<sup>さくどう</sup>がけ、索道、建物類似の構造物などが挙げられる。1つでもわからないものがあつた人も地図記号を確認し直そう。

## (2) 難易度：★★★★☆

解答例

セメントの原料となる石灰石の露天掘りをしているため、階段状の平坦な荒地となっている。(42字)

解説

R付近の地形の特徴とそうなった理由を述べる問題。

まず、地形の特徴を見てみると、R付近はがけと荒地の地図記号があるため、階段状の荒地が広がっているとわかる。次にそうなった理由を考える。

地図全体からこの地域の特徴を導きだすことを意識して地図を見てみると、町の近くにある<sup>おしかしようにゅうどう</sup>牡鹿鍾乳洞のような「鍾乳洞」の文字や、(1)にあるような凹地が目立っていることに気が付くだろう。このことから、この地域はカルスト地形であると結論付けられる。カルスト地形とは、石灰岩などの炭酸塩岩地域で二酸化炭素を含む水の溶食作用によって作られる地形であり、セメントの原料となる石灰岩の採掘が「露天掘り」という方式で行われている。露天掘りとは<sup>こうどう</sup>坑道を掘らずに直接地表から鉱産物を削り取る方法で、R付近に採鉱地の地図記号があることから、R付近が石灰石の露天掘りの影響で荒地となったと判断できる。ゆえに、セメントの原料となる石灰石の露天掘りのためにR付近が階段状の平坦な荒地になったと結論付けられる。

## (3) 難易度：★★★★☆

解答

## セメント

解説

(2)の解説でも述べた通り、カルスト地形の地域ではセメント工業が盛んである。セメントの原料となる石灰石はセメントに加工すると軽くなる重量減損原料なので、セメント工場は原料の原産地に立地する(セメント工業は原料指向型工業である)。日本でセメント工業が行われている代表的な地域には、秩父や<sup>うべ</sup>宇部などが挙げられる。

## ◆参考

## 原料の種類と工業の立地

1. 普遍原料：どこにでもあるもの 例：水

→消費地に立地(原料および製品の輸送費を最小にするため)

2. 局地原料：産地に限られるもの

i) 純粋原料：原料と製品の重量が変わらないもの 例：繊維

→原料産地と消費地のどちらでも良く、一般に労働費の安い場所に立地

ii) 重量減損原料：製品にすると重量が軽くなるもの 例：鉄鋼，セメント

→原料産地に立地

(4) 難易度：★★★★★

## 解答例

ドリーネの底などから流れ込んだ雨水が地下水となり、地中の石灰岩を溶食しながら移動することで空洞が形成された。(54字)

## 解説

これは難問。大半の受験生が解答作りに困った問題であっただろう。しかし、鍾乳洞がカルスト地形であることから、地中の石灰岩が何らかの形で削られて空洞ができたというイメージができれば、ある程度の点数を狙える。それでは何によって石灰岩は削られたのだろうか。間違いなく水、とりわけ雨水である。雨水は石灰岩を溶かす作用(溶食作用)があるからである。

次に、雨水はどのようにして石灰岩層の内部から石灰岩を溶かしていったのだろうか。表面から溶かしていったのでは空洞はできない。そこで問題文を見ていくと「上の(1)で答えた形状の地形名にも触れつつ」とある。(1)では「凹地」が解答だが、ここで解答に用いるのは凹地状の地形名であることに注意すると「ドリーネ」が解答要素として使えると判断できる。よって「ドリーネ」から地中に雨水がしみ込んだと結論付けられるが、雨水は地中、つまりドリーネの下の方向にしみ込んだので、ドリーネの「底」からしみ込んだとするのがよいだろう。凹地状のカルスト地形としてウバーレやポリエがあるが、ウバーレやポリエはドリーネが拡大したものであるため、3つの凹地状のカルスト地形のうち1つを解答にいれるとなると、ドリーネが最も適切だと考えられる。

(5) 難易度：☆☆☆☆☆

## 解答

## U字谷

## 解説

「氷河によってできた」という部分から、U字谷を思い浮かべたい。谷を埋めて流れる谷氷河によって谷が削られることで谷底が幅広く平らになり、谷壁が急崖こくへき きゅうがいとなってU字型の断面を持つようになった谷地形をU字谷

という。氷食谷とも呼ばれるが、問題文に「谷の形状から」とあるのでU字谷が解答として適切だろう。U字谷の谷底は農耕や牧畜，集落の立地に適する。河川の侵食によって形成された地形であるV字谷と混同しないようにしたい。

(6) 難易度：★★★★☆

解答

フィヨルド

解説

U字谷に海水が浸入したものをフィヨルドといい，最終氷期の終了とともに海水面が上昇してできた。U字谷の谷壁に海水が浸入してできたので断崖絶壁で，水深は深く，奥深くまで続いているのが特徴である。リアス海岸との識別問題が出題されやすいので注意したい。

フィヨルドはおもに緯度が40度を超える地域で発達し，チリ南部西岸，ニュージーランド南島西岸，スカンディナ비아半島西岸，グリーンランド，アラスカ南岸などにみられる。特にスカンディナ비아半島南西部にあるノルウェー最大のフィヨルドのソグネフィヨルドは有名で，幅約5km，長さ約204kmもあり，支流のネーロイフィヨルドは世界自然遺産にも登録され，多くの観光客を集めている。

(7) 難易度：★★★★☆

解答例

沖合を流れる暖流である北大西洋海流上の暖かく湿った空気が偏西風によって東へ運ばれ，スカンディナ비아山脈に当たって上昇し，冷却されて大量の雲が発生し，高緯度で低温のため降雪となる。(89字)

解説

この問題はぜひ完答したい問題である。センター試験レベルの基本知識があれば十分対応できる。まずキーポイントになるのは北ヨーロッパ西岸の沖合を流れる暖流の北大西洋海流である。この海流は暖流であるため，海上には暖かく湿った空気が存在する。この湿った空気が偏西風によって東に流され，スカンディナ비아山脈に当たって斜面を上昇することによって冷却されて雲が発生し，風上側で降雨となる(地形性降雨)。しかし，北ヨーロッパは高緯度で気温が低いいため雨ではなく雪が降る。以上をまとめると解答例のようになる。字数制限が厳しいためまとめるのはなかなか難しいが，問題演習を通してまとめる力も鍛えてほしい。

(梶凌慎，吉田七海統)

# 2016年度 京都大学 前期 地理

## Ⅱ 情報通信産業

出題範囲	産業概論
難易度	★★☆☆☆
所要時間	17分
傾向と対策	情報通信産業がテーマの出題。問題のレベルはいずれも標準的なものであり、難しく考えすぎずスムーズに解答したい。基本用語もおろそかにせず、取りこぼしのないよう努めよう。

### 《この解説の使い方》

**黒太字** …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

**赤字** …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

**青字** …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

### 《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

### 解答例

- 途上国グループ
- 輸出指向型工業化
- 製品が高付加価値かつ軽量小型であるため、航空輸送が適しているから。  
グローバルに活動する企業が多く、人的交流や情報交換をスムーズに行う必要があるため。
- 官民連携で技術開発を進め、高い技術を必要とする製品や、特許技術を含む知的財産の輸出が盛んに行われる。(50字)
- A - (ウ), B - (ア), C - (イ), D - (キ), E - (ク), F - (カ)

- (1) 難易度：★★☆☆☆

### 解答

#### 途上国グループ

**解説**

この問題は、サービス部門と財部門という言葉の正しくとらえることができたかどうかを問う問題といえるだろう。サービス部門とは**ソフトウェア開発**などを指す。これはICT化の進展が早くから始まっていたことにより技術が蓄積しており、開発基盤が充実している先進国グループが卓越している。財部門とはコンピュータなど**電子機器**そのものや**その部品の製造部門**を指す。部品製造は中国をはじめ、人件費が安く、労働力が豊富な途上国が担うことが多いため途上国グループの輸出額が大きな割合を占めている。以上より、②は**途上国グループ**であると判断できる。

(2) **難易度：★★★★☆****解答例****輸出指向型工業化****解説**

基本問題。国の経済発展を産業の発展段階からとらえると、経済発展の初期段階では、それまで輸入で賄っていた製品を国内で生産できるようにする**輸入代替型工業化**が進められる。これによって経済が発展すると、税金の減免やインフラ整備といった優遇を受けることができる**輸出加工区**の設置などにより海外資本を呼び込み、工業製品の輸出を進める**輸出指向型工業化**が国主導で推進されていくのである。韓国や東南アジア諸国などはこのような段階を踏んで経済発展を成し遂げてきた。

(3) **難易度：★★★★☆****解答例**

製品が高付加価値かつ軽量小型であるため、航空輸送が適しているから。

グローバルに活動する企業が多く、人的交流や情報交換をスムーズに行う必要があるため。

**解説**

パソコンやスマートフォンなど、情報通信産業の製品は**付加価値が高くかつ軽量小型**である。そのため、飛行機で輸送しても製品の販売コストに占める輸送費の割合は小さくなる。また、ハイテク製品は特に迅速な供給が求められる。そのため、こうした商品の輸送には航空輸送が適している。情報通信技術産業は様々な国とやり取りをし、グローバルに活動する企業が特に多いことも特徴である。それゆえ、研究開発に携わる人々の中の**人的交流や情報交換が迅速に行われる必要がある**。この2つが解答となるだろう。

(4) **難易度：★★★★☆****解答例**

官民連携で技術開発を進め、高い技術を必要とする製品や、特許技術を含む知的財産の輸出が盛んに行われる。

(50字)

**解説**

先進国における情報通信産業について考える問題。(1)の問題および本問の問題文中の「知識産業としての側面から」という表現から、先進国の強みである高い技術力に焦点を当て、その開発や貿易取引を考えれば良いと

わかる。開発については、**官民連携**というキーワードが思い浮かぶと良い。**国家が資金援助やインフラ整備等を行い、民間企業と連携して技術開発を進める**事例が増えている。**産学連携**という言葉を手がかりに、**大学などの教育機関と企業の連携による技術開発**について記述するのも良いだろう。

貿易については、**特許**、**知的財産**に焦点を当てたい。先進国の企業や団体は技術力が高く、特許技術をはじめとする知的財産を多数保有している。これらを他国に輸出することで特許権収入などを手にしているのである。また、こうした高い技術を利用した製品を輸出している。ちなみに、日本はアメリカ合衆国に次ぐ世界屈指の知財収支黒字国である。

以下に本問の別解を挙げる。京都大学の地理の問題は、解答が一通りに定まらない問題もあり、本問もその一例である。

別解例：**産学連携によって高い技術力を生かして研究開発に特化し、高度な技術を要する機械や知的財産の輸出が多い。**(50 字)

(5) 難易度：★★★★☆

解答

A - (ウ), B - (ア), C - (イ), D - (キ), E - (ク), F - (カ)

解説

地域別サービス輸出総額内訳のグラフ、および財輸出に占める情報通信技術貿易の割合をみてそれぞれに該当する地域を考える問題。各地域の特徴がグラフにはっきりと表れているので解きやすかっただろう。確実に得点したい。

オセアニア(ア) 豊富な**天然資源**を輸出しているほか、北半球との季節の逆転や雄大な自然を生かした**観光業**が盛んである。そのため、情報通信技術産業は発達していない。また、経済規模もそれほど大きくない。これらの特徴に合致するのは **B** である。

ヨーロッパ(イ) 古くから工業化が進み、様々な分野で高い技術力を誇るが、情報通信技術に関してはアメリカに大きく遅れをとっている。また、**シェンゲン協定**により **EU 域内の移動は活発**であり、**運輸サービスの割合が高**くなっていると考えられる。これに該当するのは **C** である。

アメリカ(ウ) **シリコンバレー**に代表されるように、アメリカは**世界の情報通信技術産業をけん引する存在**である。そのため、特許収入は非常に多く、情報通信技術貿易は財部門、サービス部門ともに非常に発達している。これは **A** が該当する。

東南アジア(カ) ほとんどが発展途上国であり、情報通信技術のサービス部門の発展はまだ途上段階である。しかし、豊富な労働力と人件費の安さ、さらに国主導で進めた**輸出加工区**の設置により、日本を中心に先進国の企業が工場を置き、電機機械の生産を行うようになった。そのため、**財部門は急速に成長**している。これに該当するのは **F** である。

南アジア(キ) アメリカとの時差が 12 時間であることを利用して 24 時間体制で企業が活動できること、高度な理数教育を行っていること、英語を話すことができること(準公用語が英語であること)、労働力が豊富である

ことなどを理由にインドに多くのアメリカ企業が進出している。バンガロールはその中心であり、情報通信技術産業のサービス部門の成長が著しい。この特徴に合致するのは D である。

アフリカ(ク) アフリカは政情不安などから海外企業の進出が進まず、工業化が大きく遅れている。当然のことながら、技術開発も進んでおらず、情報技術産業は財部門、サービス部門ともに未発達である。これは E が該当する。

(來住直哉, 吉田七海統)

# 2016年度 京都大学 前期 地理

## Ⅲ 国際組織

出題範囲	地域統合, 国際援助
難易度	★★★★☆
所要時間	21分
傾向と対策	様々な国際組織に関する問題であるが, 思考力を試す問題というよりは知識の有無を確かめる問いがほとんどである。その上, 高校地理ではあまり触れないような細かい知識も問われている。よって, この問題の対策としては教科書や資料集をしっかりと読み込んで細かい知識まで頭に入れる以外に方法は無いように思われる。とはいえ, センター試験レベルの基本的な知識も問われているので, そのような簡単な問題は落とさないようにしたい。

### 《この解説の使い方》

**黒太字** …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

**赤字** …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

**青字** …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

### 《字数について》

マス目付き解答欄について, 英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

### 解答例

- (1) ①あ
  - ②北大西洋条約機構
  - ③社会主義国家群に対する集団安全保障
- (2) ①イスラエル
  - ②石油危機(オイルショック)
- (3) ①EUには賛成国の人口の合計が加盟国全体の人口に占める割合に関する規定がある。(37字)
  - ②特定の地域に偏っておらず, 東アジア・東南アジア・オセアニア・北アメリカなど環太平洋全体に広がっている。(51字)
- (4) ①トルコ

- ②トルコがEUに加盟すると、トルコからヨーロッパにより多くのムスリムが流入し、宗教的対立が激化する可能性が高まるため。(57字)
- (5) NGOは民間団体で国家の利害にとらわれないので、国家単位で動いても解決が難しい複数国家間にわたる問題を解決に導く役割。(58字)

(1) 難易度：★★★★☆

**解答**

①あ

②北大西洋条約機構

③社会主義国家群に対する集団安全保障

**解説**

選択肢の中から経済的な目的をもたないものを選び、その組織の日本語の名称と目的を答えさせる問題。①と②は容易。あ～おの組織名は以下の通りである。

あ：NATO(北大西洋条約機構)

い：OPEC(石油輸出国機構)

う：ASEAN(東南アジア諸国連合)

え：OAPEC(アラブ石油輸出国機構)

お：EU(ヨーロッパ連合, 欧州連合)

「あ」は西側の戦勝国が並んでいる。加えて設立年が1949年のため、1961年に発足したOECDは当てはまらない。さらに「い」と「え」は産油国、「う」は東南アジア、「お」はヨーロッパの国ばかりが並んでいるため、「あ～お」の国際組織の判定は容易であろう。「い～お」はすべて経済的な目的をもった組織なので、解答は①が「あ」、②が北大西洋条約機構となる。

また、この問題の解答に直接関係するわけではないが、「い」と「え」の判別に迷った人もいるかもしれない。だが、OAPECがOPEC発足後に(2)で触れるような西アジアでの国家間対立を契機に設立されたことを考えると、先に設立された「い」がOPEC、後に設立された「え」がOAPECと判断できる。

次に③についてだが、③は世界史の知識が求められるため、①、②に比べて難しい。NATOは、第二次世界大戦後にアメリカを中心とする戦勝国かつ資本主義国が旧ソ連を中心とする社会主義国家に対抗するために結成した共同防衛組織である。このことを知っていなければ解答は難しい。しかし、このような近現代史の知識は地理でもよく狙われる分野なので、この問題を機に復習してほしい。

(2) 難易度：★★★★☆

**解答例**

①イスラエル

②石油危機(オイルショック)

**解説**

この問題は、知識としては基本的なものを聞いているが、地理の知識というよりは世界史の知識を問うている。この問題や前問からわかるように、京大地理は現代史の知識を問うてくることが多いので、しっかりとおさえておきたい。

戦後において、中東における国家間対立関係はもっぱら「イスラエル VS アラブ諸国」という構図をとっていた。その対立は**第一次中東戦争(パレスチナ戦争)**に端を発する。1945年にエジプトなどのアラブ7か国はアラブ連盟を結成し、アラブの独立を目指した。その最中でイギリスによるパレスチナの委任統治が終了し、国際連合によってパレスチナのアラブ人・ユダヤ人への分割案が提示され、ユダヤ人がこれを受け入れてイスラエルの建国を宣言したが、アラブ連盟がこれに反対して戦争になった。この戦争が第一次中東戦争である。この戦争の調停としてイスラエルの独立は確保された。しかし、この戦争後にパレスチナから100万人以上のアラブ人が追放され、パレスチナ難民が発生した。この問題をめぐって、現在に至るまでイスラエルとアラブ諸国の対立が続いており、この対立の結果、**1968年にアラブ産油国がアラブ全体の石油戦略を共同して行うことを目的に OAPECが発足したのである**。その対立の中で代表的なものが**第四次中東戦争**であり、この戦争中、OAPECはイスラエルを支援する諸国に対して原油輸出停止や制限の措置を取り、同時に OPEC が原油価格の大幅引き上げを決定したため、安価な石油を前提に経済成長を続けてきた先進工業国が深刻な打撃を被った。これを**(第一次)石油危機**という。以上より、解答は①がイスラエル、②が石油危機(オイルショック)となる。また、②は第一次石油危機と解答してもよい。

OPECが**資源ナショナリズム**の高まりによって発足した機関であるのに対し、OAPECがアラブ産油国の連携強化を目的とし、民族・宗教的なナショナリズムの高まりから生まれた機関であることを区別して理解しておきたい。

**(3) 難易度：★★★★☆****解答例**

- ① EUには賛成国の人口の合計が加盟国全体の人口に占める割合に関する規定がある。(37字)
- ② 特定の地域に偏っておらず、東アジア・東南アジア・オセアニア・北アメリカなど環太平洋全体に広がっている。(51字)

**解説**

難しい問題である。特に①は大半の受験生が知らないと思われるような知識を問うていて、解答に困った受験生も多かったことだろう。まず①からみていこう。①はEUの意思決定の仕組みをASEANの場合と比較して論じる問題。EUには決議の際、人口に関する規定がある。その規定というのは、「**賛成国の人口の合計が加盟国全体の人口の65%以上にならなければ議案は可決されない**」というものであり、この規定はASEANにはないものである。よってこの部分が解答となる。ただし、解答ではこの規定を細かく説明する必要はない。なぜなら、問題文には「意思決定の仕組みはどのようなものか」ではなく、「意思決定の仕組みにはどのような**特徴**があるか」と書かれているためである。

次に②をみていこう。②は APEC の参加国の地理的な広がりを論述する問題。APEC は近年ニュースなどで大きく扱われているので、APEC という言葉を聞いたことはあるはずである。APEC とは Asia-Pacific Economic Cooperation の略で、日本語では **アジア太平洋経済協力** と呼ばれている。この組織は **環太平洋地域における多国間経済協力を進めるために** 結成されたものである。このことを知っていれば解答には容易にたどり着ける。また、解答には「東アジア・東南アジア・オセアニア・北アメリカなど」というように具体的な地域名を載せているが、このような具体的な地名は必ずしも書く必要はない。「環太平洋全体に広がっている」という内容が書かれていれば十分である。

(4) 難易度：★★★★☆

解答例

①トルコ

②トルコが EU に加盟すると、トルコからヨーロッパにより多くのムスリムが流入し、宗教的対立が激化する可能性が高まるため。(57 字)

解説

NATO の加盟国のうち、EU の前身組織である EC に加盟を申請しながらも未だ EU に加盟できていない国の名前と、その理由のうち人口移動に関するものを答えさせる問題。

まず①について考える。一般にヨーロッパといわれる地域にある国のうち、EU に加盟していないのは基本的にノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインといった EFTA(欧州自由貿易連合)に加盟している国々とロシアであり、これらの国々は EC への加盟を申請していない。それでは①に当てはまる国はどこだろうか。地理的位置に着目してみたい。すると、アジアとヨーロッパの境に位置するトルコが思いあたる。トルコの **イスタンブール** 周辺の地域はヨーロッパ＝トルコ、**ダーダネルス海峡** を隔てた地域はアジア＝トルコと呼ばれており、古くからヨーロッパとアジアの人的、物的交流が行われてきた。よって、①の解答はトルコである。

次に②の解説に移る。②はトルコの EU 加盟が実現していない理由のうち、人口移動に関するものを答える問題。トルコの EU 加盟をはばむ要因は多くあるが、その中でも人口移動に関わるものだけをピックアップしなければならないので注意しよう。トルコと他のヨーロッパ諸国との大きな違いは宗教である。EU 圏ではキリスト教徒が大多数を占めているが、トルコではムスリム(イスラム教徒)がほとんどである。よって、もしトルコが EU に加盟すれば、トルコのムスリムが多数ヨーロッパに流入し、ヨーロッパ諸国のキリスト教徒との **宗教対立** が激化すると想像できる。それを EU 諸国が懸念したため、トルコは EU に加盟できていない。これが人口移動に関する理由であり、解答に反映すべき要素である。

(5) 難易度：★★★★☆

解答例

NGO は民間団体で国家の利害にとらわれないので、国家単位で動いても解決が難しい複数国家間にわたる問題を解決に導く役割。(58 字)

解説

NGOが特定の国のみで組織されていないことに留意して、NGOに求められる役割を論じる問題。まず、NGOとは何かを確認する。NGOとは**平和や人権の問題などに積極的に取り組み、国際的な活動を行っている民間団体**のことであり、例としては**国際赤十字社やアムネスティ=インターナショナル、世界宗教者平和会議**などが挙げられる。この定義からわかる最も重要なことは、NGOが「**民間団体**」であることである。「あ～お」の組織は政府を基本単位として活動しているため、どうしても政府の意向によって活動内容が制限されてしまう。しかし、NGOは**国家単位で参入する組織ではないため、活動が政府によって制限されることがなく、国家単位で動いても解決が難しい問題に着手することができる**。この点を書ければよい。

(梶凌慎, 來住直哉)

## 2016年度 京都大学 前期 地理

### Ⅳ 朝鮮半島とイベリア半島

出題範囲	大地形, 気候, 資源・エネルギー, 宗教・経済
難易度	★★★★☆
所要時間	17分
傾向と対策	朝鮮半島とイベリア半島という2つの地域にテーマを絞った出題。特定の地域にスポットを当てる問題は難関大学ではよく出題されるタイプである。各国地誌の知識をしっかりとおさえておこう。この大問も比較的平易な問題が多かった。(1)(3)(4)(6)のような問題は確実に得点していきたい。(5)は苦勞した人も少なくないだろう。自然条件だけでなく社会状況など時事的な知識も総動員し、落ち着いて解答したい。

#### 《この解説の使い方》

**黒太字** …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

**赤字** …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

**青字** …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

#### 《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

#### 解答例

- (1) C - 小麦, D - 米
- (2) ①ピレネー山脈  
②ペクト(白頭)山
- (3) ソウルは太平洋からの湿った南東季節風の影響で多雨となるが、マドリードは内陸に位置し、亜熱帯高圧帯の影響で少雨となる。(58字)
- (4) ①アジア通貨危機  
② - IMF(国際通貨基金)
- (5) ①エ  
②キ  
③ア

(6) 韓国では仏教やキリスト教，スペインではキリスト教カトリックが信仰されている。(38字)

(1) 難易度：★★★★☆

解答

C - 小麦, D - 米

解説

主食として該当する穀物の名前を考える問題。イベリア半島にはスペインとポルトガル，朝鮮半島には韓国と北朝鮮があるので，イベリア半島の主食は小麦，朝鮮半島の主食は米である。それぞれの主食となる穀物は明らかであるから，この問題は実質的にA, Bの判別問題といえよう。韓国の人口は約5000万人(2016年)，北朝鮮の人口は約2500万人(2016年)であるので，朝鮮半島の人口は約7500万人である。覚えやすい数字なのでおさえておこう。面積は，ヨーロッパ随一の国土面積を誇るスペインを含むイベリア半島のほうが大きい。GDPの判別は難しいので触れないでおく。輸出額は，加工貿易が盛んな韓国を含む朝鮮半島が大きくリードしている。よって，Aがイベリア半島，Bが朝鮮半島であるとわかる。以上より，Aのイベリア半島で生産が多いCは小麦，Bの朝鮮半島で生産が多いDは米である。

(2) 難易度：★★★★☆

解答例

① - ピレネー山脈, ② - ペクト(白頭)山

解説

スペインとフランスの自然的国境としても利用されているピレネー山脈が①に該当する。ピレネー山脈は新期造山帯のアルプス・ヒマラヤ造山帯に属している。自然的国境の代表例としてはピレネー山脈のほかに，スカンディナヴィア山脈(ノルウェー/スウェーデン)，アンデス山脈(アルゼンチン/チリ)，アムール川(ロシア/中国)，リオグランデ川(アメリカ/メキシコ)などが挙げられる。

朝鮮半島の最高峰は長白(チャンパイ)山脈に属するペクト(白頭)山である。これは知らなかった人もいるかもしれない。朝鮮半島の山脈は北から順に長白(チャンパイ)，太白(テベク)，小白(ソベク)であることも覚えておこう。ちなみに中国と北朝鮮の国境も鴨緑江おうりょくこうを利用した自然的国境である。

(3) 難易度：★★★★☆

解答例

ソウルは太平洋からの湿った南東季節風の影響で多雨となるが，マドリードは内陸に位置し，亜熱帯高圧帯の影響で少雨となる。(58字)

解説

気候に関する基本的な問題。気候に大きく影響を与える気候因子は緯度，地形，海流，海拔高度，風などである。これを手掛かりに考えていこう。

ソウルのグラフをみると、気温が高くなる**夏季の降水量の多さ**が目立つ。これは太平洋から**湿った南東季節風**が吹きこんでくるためである。日本も同じような理由で夏季の降水量は多くなっている。逆にソウルが冬に乾燥するのは、冬季に卓越する大陸からの乾いた**北西季節風**の影響を受けるためである。日本では、この北西季節風は日本海上空を通り過ぎるときに水蒸気を蓄えるため、日本海側を中心に積雪がある。

マドリードのグラフをみると、特に**夏季は降水量が少ない**ことが読み取れる。マドリードは夏になると、北上してきた**亜熱帯高圧帯の影響下**に入る。それゆえ、低気圧を発生させる上昇気流が起こりにくくなり、夏季は少雨になる。このほかマドリードの夏の降水量が少なくなっている要因としては、内陸に位置していること、イベリア半島の沖合を寒流の**カナリア海流**が流れていることも挙げられる。

#### (4) 難易度：★★★★☆

##### 解答例

① - アジア通貨危機, ② - IMF(国際通貨基金)

##### 解説

韓国が1997年に経験した経済危機は**アジア通貨危機**である。投資家の空売り行動が原因となってタイのバーツが暴落したのを皮切りに、韓国やインドネシア、フィリピンなどのアジア新興国の間に通貨安が広がった。その結果、海外資本の流出や不良債権の急増などを招き、東南アジア、韓国を中心に深刻な不況に陥ったのである。IMF(国際通貨基金)は経済打撃を受けた各国の救済にまわって資金援助や通貨政策の指導を行い、日本やアジア開発銀行も協力した。

#### (5) 難易度：★★★★☆

##### 解答

① - エ, ② - キ, ③ - ア

##### 解説

エネルギー別発電量の変遷のグラフから、該当するエネルギー源を考える問題。原子力発電が多いフランスや、水力発電が多いブラジルといったエネルギー構成が特徴的な国が含まれていない。また、グラフの形式も見慣れないものであったので、解答しにくいと感じた人も多かったのではないかと推察される。各国の自然条件や社会状況から類推して、慎重に解答を導こう。

##### ①原子力

原子力発電は比較的新しいエネルギー源であり、1980年代から利用が活発になってきた。**資源の乏しい国での利用が多い**傾向にある。これらの特徴に合致するのは**エ**である。韓国は日本と同様に資源に乏しい国である。利用は拡大傾向にあり、世界4位の発電規模を誇る(2013年)。ポルトガルは原発反対の立場をとっているため利用がみられない。

先進国のなかでも原発の扱いは大きく異なっている。石油危機を機に、エネルギーの対外依存率を軽減するために原発の利用率を高めたフランスのような国もあれば、ドイツやイタリアなどのように、安全管理などの観点から原発の廃止を決定した国もある。

### ②再生可能エネルギー

これは最も新しいエネルギー源である。特に、環境問題に対する関心の高いヨーロッパ諸国で導入が進んでいる。よってキが該当する。中でも、ポルトガルは再生可能エネルギーの利用を急速に拡大させており、2016年には4日間にわたって再生可能エネルギーで全電力を供給することに成功した。ヨーロッパで環境意識が高まっている一方、アジア諸国では発電コストの高さや立地の制限などを理由に導入が進んでいない。

### ③石炭

石炭は、イギリスに始まった産業革命の時期から利用されてきた比較的古いエネルギー源である。エネルギー革命により一旦は利用が落ち込んだものの、石油危機以降に価格の安さや供給ルートの安全性などが見直され、近年再び使用量が増加している。北朝鮮は石炭の採掘を行っており、石炭利用の割合は比較的高いと考えられる。以上より、アが該当する。

他の選択肢もみていこう。オイルショック以降利用が減少しているイは石油、エネルギー効率のよさや環境負荷の少なさが評価され、近年利用が拡大しているウは天然ガスである。どの国でも発電量が安定して推移しているが、河床勾配が大きく流量の多い河川が少ない韓国ではあまり利用されていないオは水力、再生可能エネルギーと同様に近年利用が拡大しているものの、アジアではあまり導入が進んでいないカはバイオマスである。

## (6) 難易度：★★★★☆

### 解答例

韓国では仏教やキリスト教、スペインではキリスト教カトリックが信仰されている。(38字)

### 解説

韓国とスペインで信仰されている宗教に関する問題。基本的な問題なので確実に点を取りたい。

韓国では近代以降、ヨーロッパ出身の宣教師たちによってキリスト教が布教され、貧しい民衆たちの支持を得て拡大していった。日本統治下においても、三・一独立運動などの反乱の中心はキリスト教徒が担うことが多かったことからキリスト教の勢力拡大の様子をうかがい知ることができる。こうした背景から、キリスト教徒の割合は29パーセントとなっている(2005年)。また、陸続きである中国の文化の影響を強く受けてきたため仏教徒も多く、全体の23パーセントほどを占めている(2005年)。

スペインは言わずと知れたカトリック国である。かつては各国に宣教師を送り、カトリックの布教に熱心であった。日本で布教活動を行ったフランシスコ＝ザビエルもスペインの宣教師である。

宗教分布に関する問題は、たびたび出題される。それぞれの宗教に特徴的な食文化や思想とともにおさえておきたい。

(來往直哉, 吉田七海統)